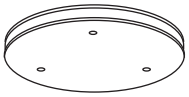
Panasonic®

保管用
保証書別添付
施工説明付き

# 取扱説明書

## 住宅用照明器具 (シーリングライト)



## 品番 HFA8080

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1〜2ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

## 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

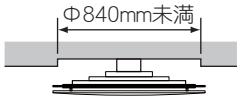
| | |
|---|---|
| | してはいけない内容です。 |
| | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠警告

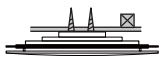
### 禁止

■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

突出部のある天井・凸凹のある天井




平面部がΦ840mm未満の天井



補強のない薄い場所（ベニヤ板や石こうボードなど）

傾斜した場所

船底天井

●この器具は水平天井面取り付け専用です。

■樹脂製アウトレットボックスに直接取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

### 必ず守る

■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

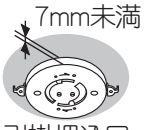
■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙ご相談窓口にご相談ください。

### 禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

フル引掛ローゼット

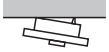



引掛埋込ローゼット
引掛露出ローゼット

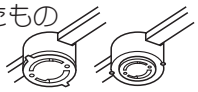
・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの



・ケースウェイに取り付けられたもの



●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です。）

### 分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

# ⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

●この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。

●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です)

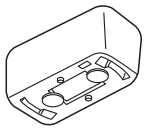
## 使用上のご注意

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具の近くでは赤外線リモコンが動作しないことがごくまれにあります。
●周囲の温度が低い場合、明るくなるまで時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生することがあります。
ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が切り替わることがあるため、長時間使わない時は壁スイッチをOFFにしてください。

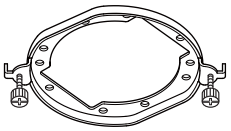
## 付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

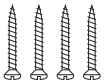
□ 配線器具
角型引掛
シーリング(1個)



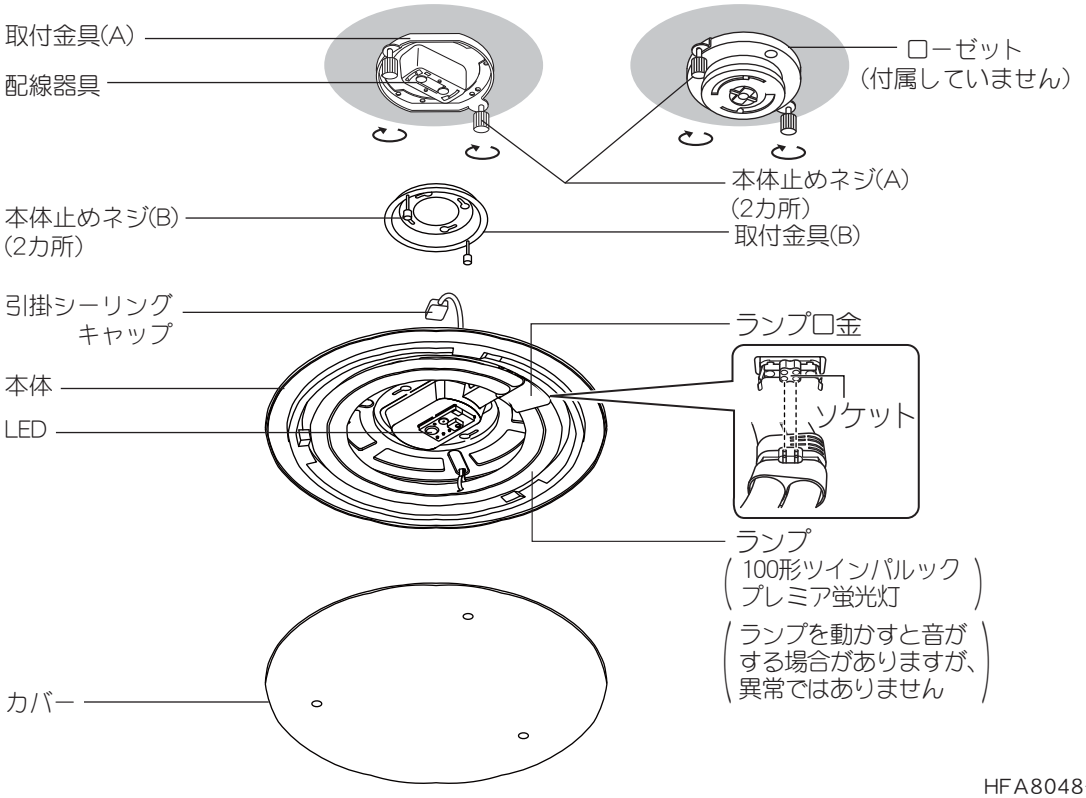
□ 取付金具（1個）
本体止めネジ（2本）



□ 木ネジ(4本)
（引掛シーリング用 2本
取付金具用 2本）



## 各部のなまえ



# 照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

## 1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

取り付けできる配線器具

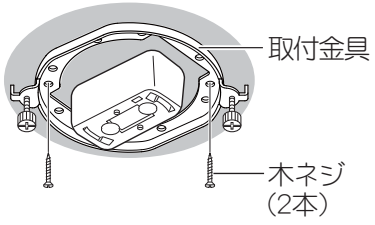
角型引掛シーリング
品番：WG1000

丸型フル引掛
シーリング
品番：WG5005
WG5015

丸型引掛シーリング
品番：WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

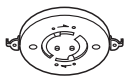
付属の取付金具(A)の取り付けが必要です

補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で
取付金具を取り付ける




**⚠警告**

**取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する**
落下によるけがのおそれがあります。

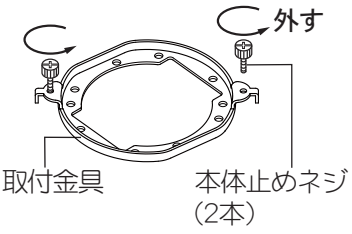


引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130

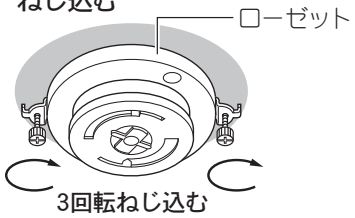
フル引掛
ローゼット
品番：
WG6005

付属の本体止めネジ(A)の
付け替えが必要です

**1** 取付金具に付いている
本体止めネジ(A)外す




**2** ローゼットに本体止めネジ(A)を
ねじ込む

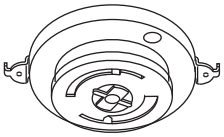


引掛埋込
ローゼット
(ハンガーなし)
品番：
WG6001BK

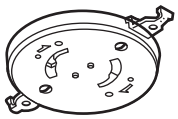
別売の配線器具への
取替えが必要です

**別売**

配線器具に付いている
本体止めネジ(A)外す



フル引掛ローゼット
WG6005



ローゼット
WG6000
WG6420
WG6130

**販売店、工事店に配線器具の
交換を依頼してください。
交換には資格が必要です。**

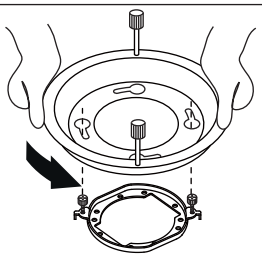
●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具（補修部品：HK956000SU）
が必要です。

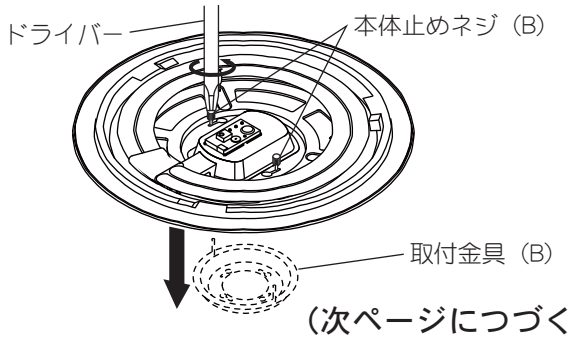
上記 5タイプ以外の配線器具 ➡ **同梱の配線器具に取り替える**

（**販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。
交換には資格が必要です。**）

## 2 ドライバーなどで本体止めネジ(B)をゆるめ 本体から取付金具(B)を外す

同じように取付金具(B)
から取付金具(A)を
外してください。



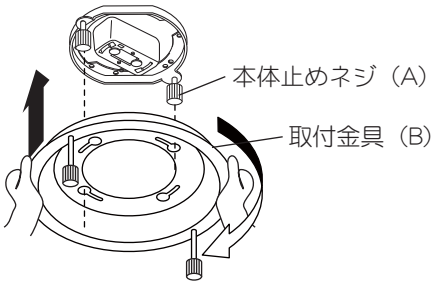



（次ページにつづく）

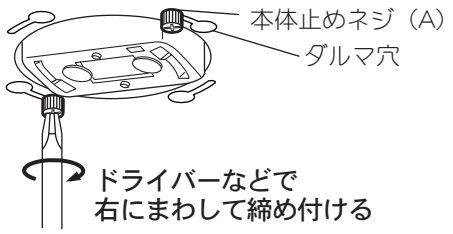
## 照明器具を取り付ける（つづき）

安全のため、電源を切ってから行ってください

### 3 本体止めネジ(A)と取付金具(B)のダルマ穴を合わせて 取付金具(B)を押し上げ右に回す

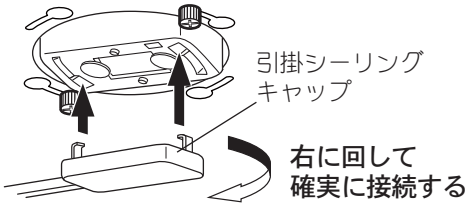



### 4 ドライバーなどで 本体止めネジ(A)を締め付ける

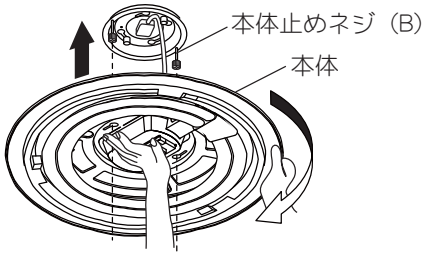



### 5 配線器具に 引掛シーリングキャップを接続する

止まるまで右にまわす。



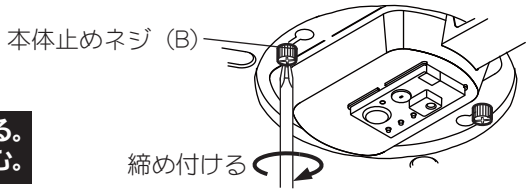

### 6 本体止めネジ(B)と本体のダルマ穴を合わせて 本体中央部を押し上げ右に回す




### 7 ドライバーなどで 本体止めネジ(B)を締め付ける

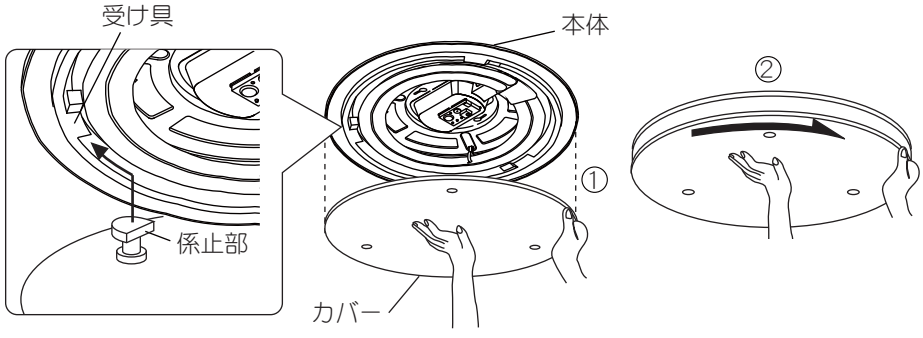
確認

**●本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。**
**➡浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。**




### 8 本体とカバーを合わせて カバーを右に回す

① 本体とカバーの外周を合わせて、
　カバーが止まるまで押し上げる
　（カバーの係止部が本体の
　　受け具の間にくるように合わせる）
② パチンと音がするまでカバーを
　右へ回す。




**⚠注意**

**カバーは確実に取り付ける**
落下してけがのおそれがあります。

# 操作方法

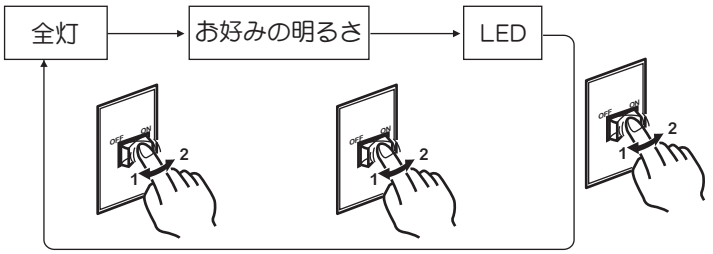
必ず壁スイッチのある部屋またはリモコンと組み合わせてご使用ください

## 壁スイッチによる操作方法

■この照明器具は壁スイッチを使って、あらかじめ設定された明るさに切替えできます。

**点　灯　順　序**

●すばやく（約2秒以内）OFF→ONさせると点灯状態が切替えられます。




- 壁スイッチをOFFすると、どの点灯状態でも消灯します。
- 点灯状態にバラツキが発生する恐れがあるために壁スイッチ1個で2台以上の器具の使用はできません。
- 壁スイッチはONのままリモコンで消灯させた場合、すばやく（約2秒以内）OFF→ONさせると全灯させることができます。

**壁スイッチで操作するには**

●壁スイッチで2秒以上消灯すると、消灯直前の点灯状態を記憶しています。
その後壁スイッチで点灯すると
（1）消灯前が全灯の場合、全灯状態になります
（2）消灯前がお好みの明るさの場合、お好みの明るさ状態になります。
（3）消灯前がLEDの場合、LED状態になります

OFF にすると消灯

※壁スイッチをONにしても点灯しない場合、すばやく（約2秒以内）OFF→ONさせると全灯状態となります。

- 長時間使わない時には壁スイッチをOFFにしてください。（節電のため）
  壁スイッチをONでリモコン消灯したままだとリモコン待機（1.5W以下）の電力を消費しています。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が切替わる場合があります。

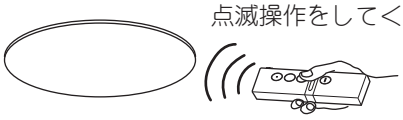
## リモコンによる操作方法

**別売のリモコンを使うと、蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。**

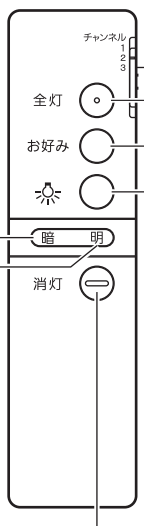
| | |
|---|---|
| HK9327K | ●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。<br>●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。 |
| HK9392K | ●タイマーの機能があります。<br>●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。<br>●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。 |

### (1)リモコンについて

**点滅の確認方法**　壁スイッチを「ON」にして点滅操作をしてください。



## リモコン各部のなまえとはたらき（HK9327Kの使用例）




### 暗 ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
　蛍光灯：100～約25％の明るさ
　ＬＥＤ ： 6～1段階の明るさ

### 明 ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
　蛍光灯：約25～100％の明るさ
　ＬＥＤ ：1～6段階の明るさ

**メモ**

●「お好みボタン」・「LEDボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
（☞ 6ページ「蛍光灯の明るさを変えたい場合」 参照）

### 消灯ボタン

消灯します。

### チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル（1～3）に合わせて使います。
（☞ 6ページ「チャンネル設定のしかた」参照）

### 全灯ボタン

蛍光灯が100％の明るさで点灯します。（注）
（注）押したときの明るさを変えることもできます。
（☞ 6ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変えたい場合」参照）

### お好みボタン

明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時：約60％の明るさ)

### LEDボタン

明/暗ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時：100％の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

# 操作方法

必ず壁スイッチのある部屋またはリモコンと組み合わせてご使用ください

## (2)蛍光灯の明るさを変えたい場合

お好み ◯
お好みボタンを押します。

➡

暗　明
明・暗ボタンで調節します。（100%～約25%）

➡

全灯 ◯ または ☼ ◯ または 消灯 ⊖
他のボタンのいずれかを押します。（ここでお好みの明るさが設定されます）

➡

お好み ◯
再びお好みボタンを押すと設定した明るさで点灯します。

- リセットスイッチ(P.7 リモコン受信器のはたらき参照)を押すと初期状態（約60%）に戻ります。
- 全灯ボタンを押した後、明・暗ボタンで明るさの調節（100%～約25%）ができますが、その点灯状態は設定されません。
- 全灯ボタンを押した時の明るさを変えたい場合は下記 (4)を参照ください。

## (3)LEDの明るさを変えたい場合

☼ ◯
☼ ◯ボタンを押します。

➡

暗　明
明・暗ボタンで調節します。（6段階の明るさ）

➡

全灯 ◯ または お好み ◯ または 消灯 ⊖
他のボタンのいずれかを押します。（ここでLEDの明るさが設定されます）

➡

☼ ◯
再び☼ ◯ボタンを押すと設定した明るさで点灯します。

## (4)全灯ボタンを押した時の明るさを変えたい場合

全灯 ◯
全灯ボタンを押します。

➡

補助スイッチ（P.7 リモコン受信器のはたらき参照)を2秒以上押します。（ピッ音がします）

➡

暗　明
明・暗ボタンで調節します。（100%～約25%）

➡

全灯 ◯
全灯ボタンを押します。(ピッピー音がします)
（ここで全灯ボタンを押した時の明るさが設定されます。）
- 全灯ボタン以外のリモコンのボタンを押しても無効です。

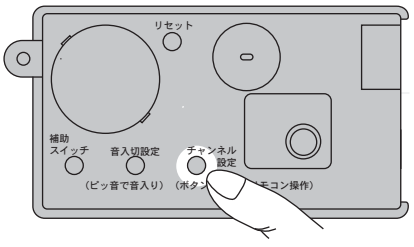
- リセットスイッチ（P.7 リモコン受信器のはたらき参照)を押すと100%に戻ります。

## (5)1部屋で複数のリモコン照明器具を使用する場合

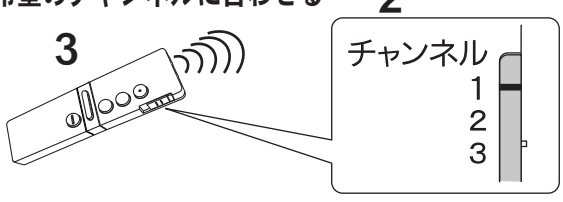
1台のチャンネルはそのままにして、2台目、3台目のチャンネルを設定してください。

**チャンネル設定のしかた** 〈例〉チャンネルを1に設定する。

**1.** 「チャンネル設定スイッチ」を押す




**2.** リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる



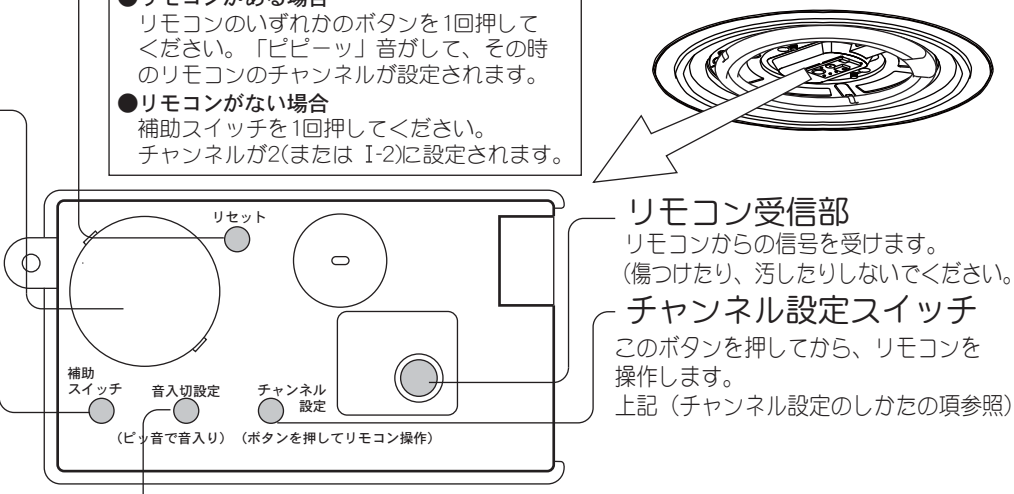

**3.** 器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す

**4.** 「ピピーッ音」がして設定完了します

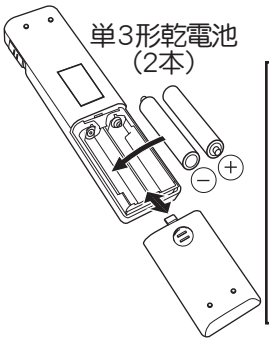
## 操作方法

必ず壁スイッチのある部屋またはリモコンと組み合わせてご使用ください

**(6)リモコン受信器のはたらき**




## 電池交換について

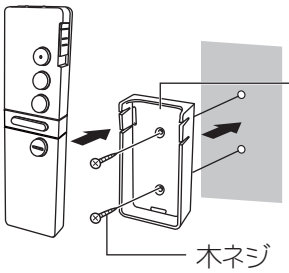



**電池交換時期の目安**

・乾電池は半年を目安に交換してください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | ・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。<br>・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。<br>・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。電池の破裂や液もれの原因となることがあります。 |

## リモコンボックスについて



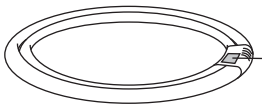

紛失防止用に壁掛け収納できます。

●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

## ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

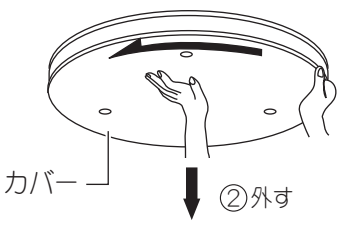
● ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅をくり返すとランプの寿命です。
パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお求めください。



ランプの種類が表示されています。

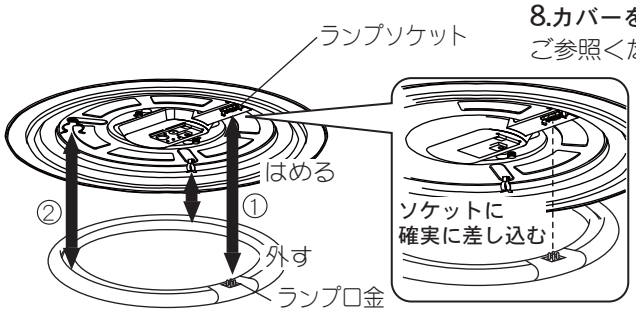
### 1 パチンと音がして止まるまで左へ カバーを回して外す

●カバーは無理に外さないでください。
**カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。**




### 2 ランプを交換する

●**取り付け、取り外しはランプ口金側から行う。**




### 3 カバーを取り付ける

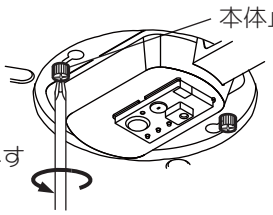
P.3「**照明器具を取り付ける**の **8.カバーを右に回す**」の項をご参照ください。

## お手入れについて

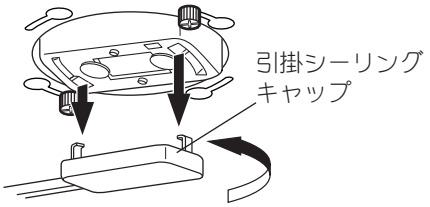
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

**器具(本体)の外しかた**

**1. 本体止めネジ(B)をゆるめ 本体を左へ回して外す**




**2. 引掛シーリングキャップを外す**




- 明るく安全に使用していただくため、定期的（６ヶ月に一回程度）に清掃してください。
  汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- 本体裏側の溝にたまったホコリなどは、ブラシなどを使って清掃することをおすすめします。

## こんなときには

故障と思われる前に下表に従って異常がないか点検してください。

| 現　象 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| リモコンで操作できない | 壁スイッチがＯＦＦになっている。 | 壁スイッチをONにする。 |
| | リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない。 | チャンネル設定ボタンを押した後リモコン操作する。（P.7参照） |
| | リモコンの電池が消耗している。 | 電池を交換する。 |
| | リモコンの電池が正しく入っていない。 | 電池を正しく入れる。 |
| | ランプが切れている。 | ランプを交換する。 |
| 壁スイッチで切替えできない | ランプが切れている。 | ランプを交換する。 |

左記の対策を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる。
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す。

さらに現象が続く場合

ただちに電源を切り、販売店・工事店、別紙ご相談窓口にご相談ください。

## 仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

| 使用電圧 | 周波数 | 消費電力 | 付属ランプ |
|---|---|---|---|
| AC100V | 50/60Hz共用 | 93W（リモコンOFF時、1.5W以下） | 100形ツインパルックプレミア蛍光灯 |

## 保証とアフターサービス

よくお読みください

**修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…**
**まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。**

転居や贈答品などでお困りの場合は…
**●修理は、「修理ご相談センター」へ!**
**●その他は、「お客様ご相談センター」へ!**

**■ 保証書（別添付）**
保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。(ランプなどの消耗品は除きます。)
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

**■ 補修用性能部品の保有期間 6年**
この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

**ご連絡いただきたい内容**
①製品名　②品番　③お買い上げ日　④異常の状況（できるだけ具体的に）

**●保証期間中は、**お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

**●保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

**●修理料金は次の内容で構成されています。**
- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用です。
- 部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571−8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2009